

平成26年第2回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

平成26年第2回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
1	10	山口 政人	地域包括ケアシステムについて	1
			補助金について	
			水道水について	
			社会資本整備総合交付金事業について	
2	16	西村 信夫	農地中間管理機構について	2
3	9	山下 芳郎	嬉野茶の今後の展開について	3
			総合計画後期基本計画について	
			少子化対策について	
4	15	織田 菊男	人口対策について	5
			社会文化会館について	
			空き家について	
5	11	芦塚 典子	嬉野市地域防災計画について	6
			少子化問題と嬉野市の行政機能維持問題について	
6	5	森田 明彦	急激な人口の減少、少子化への対策について	8
			「人にやさしいまちづくり」「バリアフリーのまちづくり」について	
7	6	辻 浩一	観光問題について	9
			学校教育について	
8	13	梶原 睦也	ディジー教科書の導入について	10
			読書通帳の活用について	
			危険通学路の改善について	

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
9	3	川内 聖二	轟の滝公園内の橋について	11
			塩田川内の遊歩道について	
			学校給食について	
10	14	田中 政司	嬉野茶の諸問題について	12
			九州新幹線西九州ルートの開通に向けた取り組みについて	
11	2	宮崎 良平	嬉野茶の現状と消費拡大、販路拡大について	13
			安心安全に遊べる児童公園の整備について	
			児童の交通事故防止対策について	
12	4	増田 朝子	子育て支援について	14
			市民への情報発信について	
13	1	生田 健児	企業進出の対応について	15
14	17	山口 要	嬉野再生問題について	16
			行政改革について	
			地域活性化について	
			文化芸術政策について	
			教育問題について	
一 質 日	般 問 程	6月11日	山口政人、西村信夫、山下芳郎、織田菊男、芦塚典子	
		6月12日	森田明彦、辻浩一、梶原睦也、川内聖二、田中政司	
		6月13日	宮崎良平、増田朝子、生田健児、山口要	

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 26 年 5 月 26 日

通告者(議席番号 10 番) 山口 政人

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	地域包括ケアシステムについて	<p>厚労省は、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年を見据え、高齢者が認知症や重度の要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で暮らせるよう、医療、介護、予防、住まいなどを一体に提供される地域包括ケアシステムを構築する。地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げることが必要と謳っている。</p> <p>嬉野市でも早急に取り組むべき重要な課題と考え、次の項目について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域包括ケアシステムの構築を目指すのか。 2 在宅医療と介護の連携は、どのように推進するのか 3 第6期介護保険事業計画策定と地域包括ケアシステム構築との連携はどのようになるのか。 4 地域包括支援センターの役割が重要になってくると思うが、今の体制でいいのか。
市長	補助金について	市単独の補助金の考え方を伺う。
市長	水道水について	佐賀西部広域水道企業団から受水している水道水について「カルキ臭」除去等の高度処理はできないか伺う。
市長	社会資本整備総合交付金事業について	塩田町内で、この事業での箇所が少ないが、精査すべきではないか伺う。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 26 年 5 月 27 日

通告者(議席番号 16 番)

西村 信夫

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	農地中間管理機構について	<p>佐賀県は農地中間管理事業の実施に当たって、担い手への農地集積や耕作放棄地の発生防止などを進める中核的な事業体として、市町（農業委員会）等と連携を密にして取り組む方針である。</p> <p>① 事業を円滑に実施するため、市町（農業委員会）に業務委託するが、農地中間管理事業の概要を伺う。</p> <p>② 管理機構は10年間で全農用地面積の8割を担い手へ集積する目標であるが、本市は可能か。</p> <p>③ 農地中間管理事業に取り組む区域は、農用地の利用の効率化及び高度化を促進する効果が高いと見込まれるものである。本市の管理事業に取り組む対象区域はどこか、また機構に貸し付けた農地の受け手がいない場合の対応は。</p> <p>④ 農地中間管理機構へ農地の出し手に対する具体的な支援策伺う。</p> <p>⑤ 土地改良事業の実施区域で農地を管理機構に貸し付ける場合の農家負担（賦課金）はどうなるのか。</p> <p>⑥ 管理機構は農地を借り受けて、担い手に貸し付ける際に必要に応じて基盤整備を行うとしているが、具体例を伺う。</p> <p>⑦ 本市の耕作放棄地を管理機構は借り受けられるのか。</p> <p>⑧ 既に利用権設定している農地を農地中間管理機構に貸し出す場合の対応は。</p>

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成26年5月27日

通告者(議席番号 9番)

山下芳郎

嬉野市議会議長 様

記

相手	質問の事項	質問の要旨
市長	嬉野茶の今後の展開について	<ul style="list-style-type: none"> ① 一番茶の状況は如何であったか。 ② 生産価格の低迷の原因は何か。 ③ 後継者の育成状況は如何か。 ④ 嬉野茶の産地存亡の危機にあるが、打開策はあるのか。 ⑤ 以前の一般質問(平成22年6月及び平成24年6月議会)で嬉野茶の今後の展開を提案したが、どう検討されたか。 ⑥ 嬉野茶の6次産業化の具体的計画を伺う。 ⑦ 世界に向けた発信をするべき時期と思うが、具体的計画を伺う。 ⑧ うれしの茶交流館の建設場所について、嬉野IC前市有地を一般質問で提案したが、どう検討したか。 ⑨ 繁忙期に開催される献茶祭の日程変更の打診を行う考えはないか。 ⑩ 耕作放棄地茶園の抜根の助成はできないか。
市長 教育長	少子化対策について	<ul style="list-style-type: none"> ① 少子化に伴う人口減少をどう考えているのか。 ② 本市の少子化対策とその効果を伺う。 ③ 子育て環境の整備はできているか。 ④ 人口減少に伴う本市の十年後の税収見込みと経済産業の影響の見込みはどうか。 ⑤ 少子化対策は多岐にわたり本市の一番大きな課題であり、今の縦割り部署での対応ではなく、横断的プロジェクトを作る必要があるのではないか。

市長	総合計画後期基本計画について	<ul style="list-style-type: none"> ① 全体計画の方針を伺う。 ② 嬉野医療センター跡地の活用について進捗状況を聞く。 ③ 新幹線駅前の国際コンベンションホール計画を聞く。 ④ 久間工業団地に光ケーブル設置の計画はあるのか。 ⑤ 嬉野市体育館の改築計画について検討は進めているのか。 ⑥ 庁舎の統合の提案をしたが、その後検討はしているのか。 ⑦ 雇用の場づくりはできているのか。 ⑧ 地場産業の育成はどうなっているのか。 ⑨ 駐車場が狭く渋滞を起こすこともある嬉野郵便局を嬉野温泉駅周辺に移転する打診を行う考えはないか。 ⑩ 嬉野川両岸に桜の植樹で桜並木の散策道にできないか。
----	----------------	---

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成26年 5月27日

通告者(議席番号 15番)

織田 菊男

嬉野市議会議長 様

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	人口対策について	①嬉野市において人口減少の原因とその影響は。 ②市の総合計画における人口の推移と日本創成会議の発表された消滅可能性都市と大きく違う点は何か、また、それについての市長の考えは。 ③転入者数に対する転出者数の割合についてどう考えるか。 ④今後の人口減少対策はどう考えているのか。 ⑤人が住みやすい町の条件はどんなことと考えているか。 ⑥人口減少とコンパクトシティ化についてどう考えているか。
市長	空き家について	①空き家の戸数、割合はいくらか。 ②空き家バンク制度の現在の利用者数はいくらか。 ③管理されていない空き家の現在までの対策件数と対応策は。 ④空き家の管理を依頼できる組織等は無いか。

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成26年 5月28日

通告者(議席番号 11番)

芦塚典子

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	嬉野市地域防災計画について	<p>1 水防計画について</p> <p>①本市は、自然的、社会的環境から、大雨、暴風雨等による風水害の被害を多く受けてきた。過去の豪雨災害の反省を踏まえた地域防災計画の見直しが必要ではないか。</p> <p>②塩田川水系では河川改修が終了しているが、昨今の降雨量の激変に対応できない河川の氾濫決壊危険箇所はないか。</p> <p>③過去の水害の検証を踏まえた地域防災計画なのか。塩田町史によれば「塩田町の災害は、佐賀県内でも最多雨量地域の多良山系を上流に持つ塩田川、鹿島川の氾濫による気象災害が主である。なおこれらの河川の広大な上流地域は、戦中・戦後にかけて、治山治水が充分に行われておらず、乱伐・開墾などによる保水力の低下は、水害に拍車をかけることになった。戦後30年間の主な水害は、昭和24、28、31、37、42、45、47、51年と計8回におよび、4年に一度は大水害の洗礼をうけたことになる。」と水害常習地であると記している。現在は、2つのダム建設で激甚災害は免れているが、個々の災害を検証して防災計画を充実すべきではないか。</p> <p>(参考)</p> <p>(1) 昭和37年7月8日 夜中に豪雨となり、堤防決壊2か所、橋梁流失2か所 死者6名、被害総額15億9千万円</p> <p>(2) 昭和45年8月 台風9号 降雨、塩田町93mm、嬉野町207mm、 塩田川左岸堤防1か所、右岸堤防美野地5か所、入り江川1か所、鹿島川2か所、決壊。午前2時30分 災害救助法適用。被害総額7億6千8百2万円</p> <p>(3) 昭和51年9月13日 台風17号 未明 宮の元付近塩田川左岸堤防40m決壊 被害総額16億2千8百14万1千円 (岩屋川内ダム 昭和49年3月竣工)</p>

<p>市長 教育長</p>	<p>少子化問題と嬉野市の行政機能維持問題について</p>	<p>④過去の災害を踏まえた避難計画と避難訓練が必要ではないか。避難勧告、避難場所、避難経路は適切か。</p> <p>⑤塩田川の河川は、今後の降雨量（ゲリラ豪雨、今まで経験したことのない豪雨等）に対応できる改修ができていますか。</p> <p>⑥治山のための森林整備保全植林は適宜にできていますか。また、茶の耕作放棄地の植林は早めに進めるべきではないか。</p> <p>⑦今後の乱開発（太陽光発電設備設置のための伐採等）に対する条例整備は必要ではないか。</p> <p>⑧2つのダム最大の放流量及び最小放流量はいくらか。</p> <p>⑨治水用のダムは、洪水調節時に安全に放流を行うための操作ができていますか。「小容量放流設備」の設置が必要ではないか。</p> <p>⑩災害時の復旧・復興対策については、男女共同参画の観点から復旧・復興のあらゆる組織に女性の参画及び高齢者・障害者等の災害時要援護者の支援を促進すべきではないか。</p> <p>2 原子力防災関係について</p> <p>①原子力災害に係る避難計画策定はどのように策定されるのか。</p> <p>②本市の原子力災害に係る避難計画では、約15,000人を分散して受け入れる計画であるが、適切な受け入れの対応はできるか。</p> <p>③避難が長期に亘るとき、子ども、妊婦、高齢者、要援護者などの受け入れ環境を改善できるか。</p> <p>④子どもの教育（学校等）妊婦・病人・高齢者などに柔軟に対応できる受入環境が整備できていますか。</p> <p>⑤原発災害時に本市も災害非常時にあるときは、どのような対処をされるのか。</p> <p>①「2040年、子どもを産む中心世代の20～30代の女性人口が半減し、自治体は急激な人口減が避けられず、将来は消滅する可能性がある」と政策提言機関「日本創成会議」は予測しており、佐賀県8自治体をあげ、嬉野市も範疇にある。どのようにとらえているか。</p> <p>②市としての現状と対策を伺う。</p> <p>③小学校の児童数の推移を伺う。</p> <p>④少子化の歯止めを図る政策として、雇用増大を図る企業誘致が必要ではないか。</p>
-------------------	-------------------------------	---

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成26年 5月29日

通告者(議席番号 5番) 森田 明彦

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	急激な人口の減少、少子化への対策について	<ul style="list-style-type: none"> ① 人口減少及び少子化に対する市長の率直な所感を伺う。 ② 20年後までの人口推移の見通しは出ているが、半世紀後の予測はどうか。 ③ 国は「地域少子化対策強化交付金」を用意されているが、この交付金を活用する計画はあるか。 ④ 乳幼児を抱えた保護者に対し、市内施設でのおむつ交換台や授乳室の設置等外出しやすい環境は整っているか。 ⑤ 市独自の人口減少及び少子化対策や取り組みは有るか。
市長	「人にやさしいまちづくり」「バリアフリーのまちづくり」について	<ul style="list-style-type: none"> ① 市長の政策公約にも挙がっていた「人にやさしいまちづくり」「バリアフリーなおもてなしのあるまち」の具体的な取り組みについて伺う。 ② 「佐賀嬉野バリアフリーセンター」の市政での位置づけとその利活用状況はどうなっているか。 ③ 「佐賀嬉野バリアフリーセンター」はバリアフリーのノウハウも有り、嬉野温泉観光の独自性「バリアフリーなおもてなしのまち」として、より重要な組織として位置付けが必要と考えるがどうか。 ④ 障がい者や介護が必要な方が家族との温泉旅行を願うも諦めている潜在的需要について、どう考えているか。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成26年5月30日

通告者(議席番号 6 番) 辻 浩 一

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	観光問題について	<p>嬉野市の経済活性化にとって交流人口増は喫緊の課題である。そこで宿泊増に向けてのイベントや観光スポットとの連携について次の事を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①オルレと宿泊がどれほど繋がっているのか。 ②伝建地区への観光客の経済効果について ③スポーツ大会・合宿の誘致と宿泊に係る経済効果について ④観光スポットのルートを設定する必要性について ⑤塩田虚空蔵山の展望台の再建について
教育長	学校教育について	<p>今後の学校教育の在り方について教育長の所感を伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 26 年 5 月 30 日

通告者(議席番号 13 番)

梶原陸也

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	ディジー教科書の導入について	<p>軽度の発達障がい児の中には読書が困難な子どももいる。そのような子どもたちへの支援策としてディジー教科書が有効である。</p> <p>これはパソコンで教科書を再生するもので、テキスト・音声・画像が同期していて、テキストは読んでいる部分が反転するようになっている。</p> <p>読みが困難な子どもたちの学習環境を整えるためにもディジー教科書の早期導入をすべきと考えるがいかがか。</p>
市長 教育長	読書通帳の活用について	<p>読書離れが進む中、読書することが楽しくなるような方法の一つとして読書通帳が注目されている。</p> <p>これは、読んだ本の記録(貸出日、返却日、本のタイトルや値段など)を預金通帳のような形式で貯めていくことにより読書への意欲を高めることが出来る。</p> <p>そこで、本市でも取り組む考えはないか。</p>
市長 教育長	危険通学路の改善について	<p>うれしの特別支援学校西側の千堂新村線は歩道もなく、特に朝の通勤時間帯においては県道嬉野・下宿・塩田線の抜け道となり、ここを通学する子供たちにとってとても危険な状態にある。その危険を回避するため、何か対策は考えられないか。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 26 年 5 月 30 日

通告者(議席番号 3 番)

川 内 聖 二

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市 長	轟の滝公園内の橋について	<p>嬉野温泉の観光名所の轟の滝公園内の3橋（御嶽橋、日子山橋、滝見橋）及び転落防護柵等、構造物が風化し塗装がはげたりあせたりしてサビが出ている状況である。</p> <p>そこで轟の公園内の橋及び転落防護柵等構造物の整備、補修状況について伺う。</p>
市 長	塩田川内の遊歩道について	<p>嬉野町の中心を流れる塩田川には観光客の方々や市民の皆様方が散策できる様に遊歩道が整備されているが、遊歩道に雑草が茂り、ところどころにゴミが散見され、景観的にも悪い。そこで、除草及び清掃状況について伺う。</p>
市 長 教育長	学校給食について	<p>只今、嬉野茶も新茶のシーズンであるが、子供たちのお茶離れが気になる。新潟県の三条市では、平成20年度からパン食を取りやめ地元の新潟米で完全米飯食にし、牛乳もご飯には合わないという理由で今年の12月から来年の3月まで牛乳を廃止する計画をされている。</p> <p>そこで、学校給食の献立に合わせて牛乳を地元のお茶に換えて提供出来ないか伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成26年 5月30日

通告者(議席番号 14番)

田中政司

嬉野市議会議員 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 市長 教育長	嬉野茶の諸問題について	<p>本年産の1番茶が終了し、間もなく2番茶が始まるが、価格が非常に安い取引状況であり、全国的にも生産者にとっては非常に厳しい内容であった。</p> <p>① 嬉野管内における現状はどうだったのか。(収量、単価、取引額等)</p> <p>② 価格低迷の要因として考えられるのは、消費の低迷による商社の在庫量と考えられるが如何か。</p> <p>③ この状況が続けば、生産者の耕作放棄、強いては茶産地としての存続も危ぶまれることが考えられるがどうか。</p> <p>④ 茶の消費拡大を図ることが最も重要である。これから先の茶の消費を考えると、子供たちに食事の時にお茶を飲む習慣を身につけさせるため、給食時のお茶の飲用に取り組むべきと考えるが如何か。</p>
市長	九州新幹線西九州ルートの開通に向けた取り組みについて	<p>① 武雄温泉～新鳥栖間については在来線を利用してのフリーゲージトレインでの整備が予定されている。 嬉野温泉への観光客の入込を考えた場合、利用者にとっては博多駅で乗り換えず、広島や関西方面まで乗り入れ可能なフル規格での新幹線整備が理想と考えるが市長の考えは。</p> <p>② 新幹線を利用しての観光客誘致を考えた場合、嬉野市単独ではなく、近隣自治体が一緒になった活動が必要と考えるがこれからの対応は。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 26年 6月 2日

通告者(議席番号 2 番) 宮崎 良平

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	嬉野茶の現状と消費拡大、販路拡大について	①今年度の一番茶の現況を伺う。 ②消費拡大、販路拡大について、新しい戦略や取り組みを考えているか。
市長	安心安全に遊べる児童公園の整備について	近年子供たちの公園離れが増えているように感じる。そこで、エネルギーが有り余る子供たちがキャッチボールやサッカーボールで遊べる安心安全な遊び場として確保するため、児童公園の周囲にネットを設けることはできないか。
市長	児童の交通事故防止対策について	①県下一斉交通安全運動などとは別に、市として行われている対策について伺う。
市長 教育長		②嬉野市内各小学校で小学3年生の時期に自転車講習会が行われているが、講習会の内容について伺う。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 26 年 6 月 2 日

通告者(議席番号 4 番)

増田 朝子

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 市長 教育長	子育て支援について	<p>①全国的に人口減少や若い女性の減少等による少子化が問題化している。本市はこの少子化の状況についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>②昨年12月に子ども子育て支援事業計画に係るアンケート調査が行われたが、その調査結果について所見を伺う。</p> <p>③子育て相談は、どこでどのようにされているか伺う。</p> <p>④ファミリーサポートについて次の点を伺う。 (1) 事業の内容はどのようなものか。 (2) 利用状況はどうなっているか。 (3) 課題はどのようなものがあるか。</p> <p>⑤子育て支援の情報提供は、どのようにされているか。</p> <p>⑥本市のブックスタート事業はどのように取り組まれているか</p>
市長	市民への情報発信について	市の制度、各種サービス、行事等のお知らせは、現在、どのような方法で市民への周知がなされているか

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 26 年 6 月 2 日

通告者(議席番号 1 番) 生田 健児

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	企業進出の対応について	<p>嬉野市にも新しい時代の風が続々と吹き始めている。次の点について伺う。</p> <p>①メガソーラー発電所周辺環境整備について。</p> <p>②市としてこれからのネットインフラ整備についてどう考えているのか。</p> <p>③様々な形での企業進出にどう対応していくのか。</p> <p>④市として企業誘致についてどう考えているのか。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成26年 6月 2日

通告者(議席番号 17 番) 山 口 要

嬉野市議会議長 様

記

NO. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	<p>嬉野再生問題について</p> <p>行政改革について</p>	<p>1 消滅可能性都市について</p> <p>①「日本創成会議」の分科会が試算した、今回の結果についてどう受けとめているか。</p> <p>②本市における、今後の人口推計と、特に20～39歳の女性人口はどのように推移していく状況か。</p> <p>2 今後の再生について</p> <p>①将来に向けて、本市を維持していくためにはどれくらいの人口が最低限いると考えるか。</p> <p>②今後に向けて雇用や子育て対策が急務となってくるが、どのような対策を講じていく考えか。</p> <p>1 情報公開条例について</p> <p>①「市民オンブズマン連絡会議・佐賀」の情報公開条例の改正申し入れの後、どのように対応がなされたか。</p> <p>②第三者申請の住民票交付や戸籍謄本などの交付を通知する制度の導入についていかに考えているか。</p> <p>③「公文書管理条例」の制度に向けて取り組む考えはないか。</p> <p>2 行政サービスの転換について</p> <p>①保健福祉サービスのあり方のなかで、従来の必要な人からの申請を待つ「受付型」から、積極的に手を差し伸べる「提案型」へと体制を転換していくべきと考えるが、どうか。</p> <p>②窓口を訪れた人だけに対応する「個人単位」の支援から「世帯単位」の総合的な支援に切り替えることも必要ではないか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
	地域活性化について	<p>3 国や県との連携について</p> <p>①九州財務局と熊本県宇土市が、全国で初めて包括連携協定を結んだ。本市も参考にしてはどうか。</p> <p>②県への出向が現在なされていないが、今後どうする考えか。</p> <p>4 市民への情報発信について</p> <p>①最近、市民への情報発信でHPに頼ることが多いが、市民がどれだけHPを使っているか把握をしているか。</p> <p>②県はこれまでのHPに加え、電話での対応を行っている。本市でも検討してはどうか。</p> <p>1 人材を活用した活性化支援について</p> <p>①「NTTデータ経営研究所」の運営による、地域の求めに応じて人材を紹介する「農山漁村活性化支援人材バンク」が昨年末より始動した。本市も利用すべきではないか。</p> <p>②長野県小布施町で、若者が議論し、新たな価値観を発信する「小布施若者会議」が開催されている。参加を含め検討してはどうか。</p> <p>③「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」のサミットを誘致する考えはないか。</p> <p>2 本通りの活性化について</p> <p>①以前提案した「緑のまち整備事業」が滞っている。今後どうするのか。</p> <p>②空き店舗を利用して、「子育て交流プラザ」や「交流図書館」を設置するのも一考ではないか。</p>
	文化芸術政策について	<p>1 社会文化会館について</p> <p>①完成がまじかに迫ってきたが、オープニングイベントについては、どのような企画がされているか。</p> <p>②今後の運営について、企画や運営が重要になってくる。スタッフの問題と、加えて運営の在り方を検討する懇話会等の設置を考えてはどうか。</p> <p>2 「ニッセイ名作シリーズ」について</p> <p>①日本生命保険は青少年を招待する公演事業「ニッセイ名作シリーズ」を始める予定である。本市も申し込んではどうか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	教育問題について	<p>1 地方教育行政法改正案について</p> <p>① 今回の教育委員会制度の見直しについての所見を問う。</p> <p>② 来年4月の施行を目指すとされているが、今後の制度の中身の対応や、スケジュールはどうなっていくのか。</p> <p>2 「2分の1成人式」について</p> <p>① 全国各地で近年、「2分の1成人式」という催しが広まっている。本市でも検討してみてはどうか。</p> <p>3 給食問題について</p> <p>① 食物アレルギー対応については見直すべきではないか。</p>